

令和6年度 日中サービス支援型グループホーム評価委員会について

1 対象事業所

RASIEL（ラシエル）沼津
ソーシャルインクルーホーム沼津西沢田、沼津松長
リビットホーム&ナース沼津
クライスハイム沼津岡宮
ふわふわ沼津西沢田

2 実施経過

- 10月3日 11月20日または11月29日に評価委員会を実施する旨を事業所宛てに通知。実施に先立ち、10月25日までに報告・評価シートを提出するよう併せて依頼。
- 10月25日 各事業所から報告・評価シートの提出あり。
- 11月20日 事業所出席のもと、評価委員会を実施（サンウェルぬまづ3階会議室）
RASIEL沼津 → 管理者1名出席
ソーシャルインクルー → 西沢田及び松長の管理者各1名出席
リビットホーム&ナース沼津 → 管理者・支援員各1名出席
- 11月29日 事業所へ出向き、評価委員会を実施（各事業所）
クライスハイム沼津岡宮 → 管理者、サービス管理責任者各1名対応
ふわふわ → エリアアドバイザー、管理者各1名対応
- 12月25日 11月20日及び29日の実施記録と評価案を委員宛てに送付。
今後の対応、助言、要望等を取りまとめた報告・評価シートを事業所に送付、改善等の予定の提出依頼。

3 主な指摘事項

- ・防災訓練は単独での開催に留まっているが、大規模な風水害や地震発生時には、地域の協力が重要であることから、更なる地域との交流への取り組みが必要である。
- ・内部研修に留まることなく、地域で行われる研修に参加し、同業他社の人の話を聞くということも重要と考えるので、外部研修へも参加すること。
- ・虐待防止やプライバシーへの配慮について、同性介助の問題や、相談室を設けて対応すること。
- ・外部との関わりを積極的に持つようにすること。

4 来年度以降に向けての課題

- ・現在、6社7事業所が評価対象となり、評価委員会の開催に要する時間が増加する。
本年度、新たなグループホームが1か所開所した（シャルール・西島町・5月開所）が、開所から間もないことから、グループホーム連絡会への参加をもって評価委員会への出席に代え、次回から評価委員会に出席することとした。

また、今回はこれまでの評価委員会実施状況や事業所の増加を踏まえ、1事業所あたりの質疑応答時間を短縮するとともに、新たな試みとして、2事業所については、実際事業所へ訪問し事業所内の見学をした後、質疑応答を実施した。残りの事業所については、昨年同様サンウェルにて実施した。来年度以降も今年度同様の方法で、実施してよいか。今後も、事業所の増加傾向が継続するもの予想されることから、これに対応するため、評価委員会の開催回数や、質疑の方法等について、評価委員の皆様とも協議し、検討を継続していくこととしました。